

やっぱ九条inヨコスカ 基地の街で平和を考える

10月9日(土)

主催:「九条かながわの会」やっぱ九条inヨコスカ実行委員会
協賛:「横須賀市民九条の会」その他、神奈川の各地九条の会

講演会 11:00~13:00

芸術劇場ホール&ロビーでの催しもの



澤地久枝さん
(作家・
「九条の会」
呼びかけ人)

演題「未定」

澤地さんは、1972年に『妻たちの二・二六事件』を出版し本格的な執筆活動に入りました。周辺諸資料の詳細な検討を加えた実証的な著述は、独自の歴史ドキュメンタリーの世界を構築しています。「40年ぶりよ」という横須賀でのご講演を、ご自身も楽しみにしておられるとのこと



アーサー・
ビナード
さん
(詩人・俳人)

演題「アメリカって誰だ？」

「アメリカ側からみた日本国憲法はどうか？合衆国憲法と比べて、どういう機能が備わっているか？日本国憲法を考える時、相手にすべきアメリカは誰なのか？日本のマスコミが普天間報道をする時「アメリカは怒っている」と言うが、そのアメリカとは誰のことを指しているのか？を、一人のアメリカ人として話します。」
(ビナードさん談話)

展示と物品販売 13:00~18:00

- ★ 講演者の著作・DVD、各地九条の会の九条グッズを、4階ロビーで販売します。
- ★ 昼食時には、弁当を3階のロビーで販売します。周辺の食堂は込合うのでご利用下さい。
- ★ 横須賀市民九条の会の九条手作りポスターを4階ロビーに展示します。
- ★ 16:00頃から、フィールドワーク「戦艦の描写と平和」の作品を4階ロビーに展示します。
- ★ かながわ歌人九条の会準備会参加者による短歌の作品を4階ロビーに展示します。

映画 14:00~16:00

沖縄

第1部 一坪たりともわたすまい

日本復帰前、1969年の製作上映作品。アメリカ軍の接収で土地を失った青年島袋三郎。米軍の物資を掠めることは、せめてもの「抵抗」だった。米兵に追われたある日、玉那覇朋子に助けられる。朋子の住む平川村でも、土地接収計画が進んでいた。土地を守るために立ち上った人々の整然とした抗議と闘いを描く。制作:山本薩夫・伊藤武郎、監督:武田敦、キャスト:佐々木愛、地井武男、他。「辺野古の原点」が描かれています。この機会に是非ご覧下さい!

エンディング・コンサート 17:00~18:00

- ★ 地域バンド「よろずピースバンド」の演奏
- ★ 「やっぱ九条ひまわり合唱団」による歌
- ★ 九条かながわの会の岡田事務局長より「これからの運動についての提起」
- ★ きたがわてつさんと平和を歌い上げてフィナーレ
予定していた横井久美子さんは、リハーサルが重なったため、ご出演できなくなりました。

チケット: 事務局に Fax (046-849-8099)でお申込み頂けば、実行委員が販売にどうか、振替用紙同封でチケットを郵送します。

一般:	¥1,000
若者(22歳以下)	¥500
小、中学生	無料

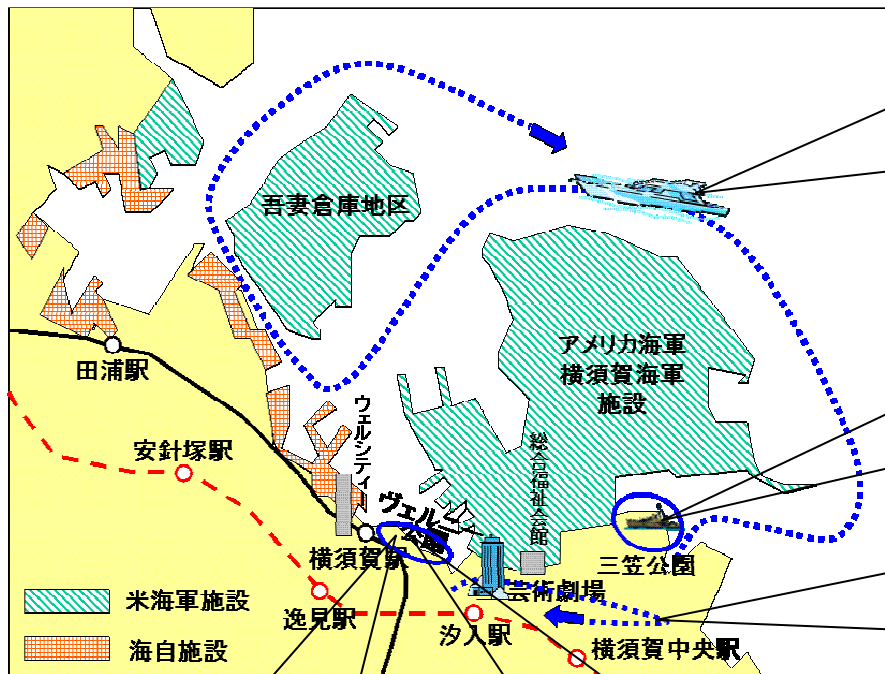
チケットは、すべての催しに有効です。
なお、軍港めぐり乗船券(¥1,000,予約要)と三笠見学料(一般個人¥500)は別料金です。

分科会 14:00~17:00

この他に、青年が総合福祉会館和室での分科会を計画しています。

タイトル	どんな内容?	会場
教育と九条 ～横浜市歴史教科書問題 と日の丸・君が代問題	横浜で教育委員会により採択された自由社版歴史教科書の問題点を 依義文さん が話されます。他に、国旗・国歌問題等、教育の現場について報告があります。	芸術劇場大リ ハーサル室
私たちは九条、世界はどうだ?	ピース・ボートの 川崎哲さん 、グローバル9条キャンペーンの 笹本潤弁護士 と共に、世界に9条がどう拡がり、平和を求める運動にどう影響を与えているのかを探ります。コーディネーターは 土井香苗弁護士 (TVニュースキャスター)。	芸術劇場小リ ハーサル室
メディアは基地をどう伝えているか～基地報道と九条	神奈川新聞・沖縄タイムス・長崎新聞で連載中の基地問題の共同企画は、地域から基地問題を問い直す面白い紙面になっています。神奈川と沖縄の二紙の記者が、共同企画連載記事を語ります。	総合福祉会館 ホール
なし崩しに進められる九条崩壊と私たちの運動	東京新聞編集委員・ 半田滋さん にアメリカの世界戦略に加担する自隊の海外派遣の実態とその持つ意味について語って頂きます。それを受けて、今、大きな問題になっている「解釈改憲」に、九条の会はどう立ち向かったらよいか議論します。	総合福祉会館 視聴覚室
原子力空母と横須賀基地	新たに制作されたこの問題の分かり易いDVD(38分もの)が披露されます。「原子力空母を考える市民の会」の 呉東正彦弁護士 が最近の裁判情報などを含む運動の経緯を説明します。	ウェルシティ 学習室
基地を知り九条を考えあうフリートークひろば	厚木、座間などの基地の現状を、DVD、写真パネルなどで紹介します。 A.ピナードさん がゲストスピーカーで出演されます。	ウェルシティ 第一会議室
自衛官の命と人権をまもる九条	「憲法9条が自衛官を守っていると考えたことがありますか」というメッセージを全国に先駆けて発した非核市民宣言ヨコスカの 新倉裕史さん 、21歳の自衛官自殺訴訟(護衛艦「たちかぜ」訴訟)の原告(ご遺族)等が参加されます	ウェルシティ 第二会議室

フィールドワーク 14:00~17:00



この目で見よう憲法9条 - 横須賀軍港めぐり

チャーター船(80人乗り2回)を使い、平和委員会の**鈴木和弘さん**が横須賀基地にいる軍艦の果たしている役割を説明します。(予約制: 乗船料 ¥1,000)

戦艦三笠と「坂の上の雲」

戦艦三笠を見ながら、元日本テレビディレクターの**仲築間卓蔵さん**が、今年も暮れに放送される「坂の上の雲」の真実を解説します。(観船料: 一般¥500)

米兵犯罪現地調査

裁判を担当している横浜合同法律事務所の弁護士が、米が浜通りの現地で状況を説明します。被害者のお連れ合いの**山崎正則さん**も参加されます。

戦艦の描写と平和

軍艦の見えるこの場所で、スケッチや撮影をして、ロビーに展示します。画家の**古澤潤さん**から、それができるとの意味を話してもらいます。

陸から見る米軍基地

ヴェルニー公園から見える米軍、自衛隊の艦船の機能と役割、そしてこれまで何をして来たかを、平和委員会の**石澤偉男さん**が説明します。

いずれも 14:00 芸術劇場 4階
ロビーに集合して出発